

令和4年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

実施日：令和4年11月9日（水）

○ グループ協議「家庭教育支援に向けた取組②」

総合教育センター生涯学習部職員

前回に引き続き、子育てを行う上での課題を踏まえ、自分たちが取り組めそうな家庭教育・子育て支援の活動について話し合いを行いました。

どのグループも、前回までの活動案を再度練り直し、より課題に即した取組となるよう工夫し、活動の実現までの道筋をなるべく具体的に示すよう努めるなどしながら、それぞれの活動案の実現可能性を高めていきました。協議の最後には、発表の役割分担やりハーサルなども実施し、活動案報告会の準備も行いました。

この協議を経て完成した活動案には、事業内容や期待される効果などが具体的に記されており、企画した取組を是非実現させたいという受講者の思いが表れていました。



○ 家庭教育支援に向けた取組の発表並びに閉講式

総合教育センター生涯学習部職員

研修全体のまとめとして、グループごとに考えた活動案の報告会を開きました。A班は、妊娠中から始める切れ目のない支援を目指し、定期検診に訪れた保護者に対して様々な働きかけを行う取組について、B班は、多世代交流の場づくりや、そこでできたつながりを生かした地域ぐるみの子育て支援について、そしてC班は、親子のふれあいの機会創出と、互いの理解促進を図るための様々な「ふれあい遊び」を紹介する取組について、報告を行いました。

どのグループも、短時間で協議の成果を分かりやすく伝えていました。また、発表後には、参観していた栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会の方々から、それぞれの活動案に対する期待の言葉や、実践する上でのアドバイスが多数送られました。



報告会后、家庭教育オピニオンリーダー連合会支部長と受講者との情報交換会が和やかな雰囲気の中で行われました。そして、続いて行われた閉講式では、受講者全員に修了証が授与され、6日間の研修が無事終了しました。研修を修了した12名の皆様には、研修で得た学びや気づきを生かし、地域に根ざした家庭教育支援の実践者として今後の活躍が期待されます。どうぞ、頑張ってください！



☆受講者の声（アンケートから）

- ・社会福祉協議会など関係機関とうまく連携するといろいろなことができそうだということに気づきました。SNSをうまく活用した支援が今後は重要になってくることも感じました。
- ・今後も学び続けていき、日々生活する中での子育てのサポートをしていきたいと思えます。
- ・地域差はあると思いますが、町に戻って少しずつでいいので実践してみたいです。やってみて、またそこから学んでいくということが大切なのだろうと感じました。
- ・発達障害や自閉症等のお子さんを持つ家庭の悩みに触れることのできる研修も入れていただけるとありがたいと思えます。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp